

公用車管理DX及び包括維持管理業務 契約候補者決定基準

1 契約候補者の決定方法

公用車管理DX及び包括維持管理業務公募型プロポーザル（以下「本プロポーザル」という。）の実施において、公用車管理DX及び包括維持管理業務事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置する。

委員会は、技術提案書、プレゼンテーション及びヒアリングをもとに提案者の創造性、技術力、実現性などを適正に審査し、その業務内容に最も適した事業者を選定する。

2 委員

職名	氏名	役職
副町長	佐々木 俊昭	委員長
企画財政課長	菅谷 信也	委員
農林課長	高森 正博	委員
建設課長	石橋 一史	委員
住民生活課長	夏堀 勝徳	委員

3 審査方法

- (1) 審査は、提案者から提出された企画提案書及び提案者による審査会の場でのヒアリングに基づいて行う。
- (2) 提案者が5者を超える場合には、企画提案において、企画提案書のみによる審査（以下「一次審査」という。）を実施し、上位と評価された5者により(1)の審査を行う。
- (3) 提案者が5者以下であった場合は、一次審査は行わないものとする。
- (4) 選定委員会の委員は、企画提案書等及びヒアリングに基づき、個別の審査項目ごとに評価・評点を行う。
- (5) (4)に係る総合評価の結果に基づき、最優秀提案者を契約候補者とする。なお、総合評価が同点の場合は、選定委員会の合議の上、契約候補者を決定するものとする。
- (6) 参加者が1者のみであった場合でも、審査会において企画提案書等に基づく審査を実施し、本業務を実施するにふさわしいか否かを評価するものとする。

4 審査項目等

合計100点満点とし、以下の基準に基づき採点する。

評価項目	審査の視点	配点
1 実施体制・サポート・企業信頼性	・情報セキュリティ体制（ISMS等）は万全か。 ・緊急時・災害時のバックアップ体制はあるか。	10

2 システム機能性（D X）	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリのUI/UXは優れているか（デモ審査）。 ・アルコール検知器との連携はスムーズか。 ・管理者の確認・承認作業は効率化されるか。 	20
3 維持管理・B P O・地域貢献提案	<ul style="list-style-type: none"> ・整備工場のネットワークは充実しているか。 ・町内の整備業者を活用する仕組みがあるか。 ・請求一本化による事務削減効果は高いか。 	20
4 コスト削減・分析提案及び付加価値	<ul style="list-style-type: none"> ・車両データの分析により、将来的な減車や人件費を含むコスト削減の具体的道筋が示されているか。 ・整備費用の適正化（過剰整備の抑制）の仕組みがあるか。 ・その他、費用対効果・コスト削減に関する独自の付加価値提案があるか。 	20
5 伴走支援等	<ul style="list-style-type: none"> ・システム導入時、操作練習できる環境が用意されているか。 ・公用車や利用者のシステム登録・運用支援はあるか。 ・利用者説明会は実施されるか。 ・運用開始後に適宜フィードバックが実施されるか。 	20
6 見積価格	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された金額は妥当か。 	10

4 審査結果の通知

審査結果は、各提案者に郵送により書面で通知する

5 その他

- (1) 審査結果についての異議申し立ては、一切受け付けない。また、審査の過程については一切公開しない。
- (2) 委員との接触は、一切認めない。また、接触の事実が認められた場合には失格となることがある。